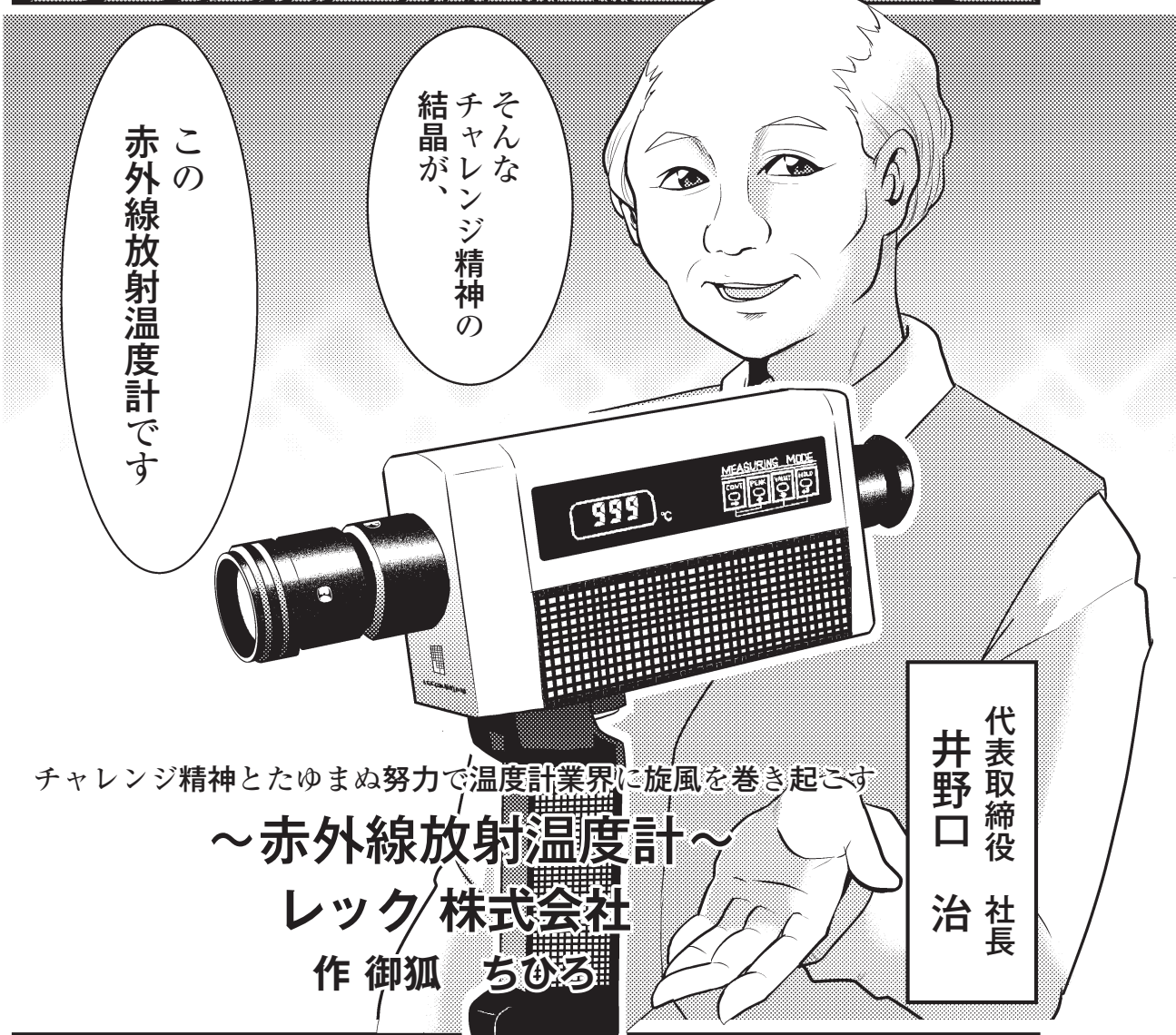


チャレンジ精神とたゆまぬ努力で温度計業界に旋風を巻き起こす

～赤外線放射温度計～
レック株式会社

作 御狐 ちひろ

レック(株)

新小岩の住宅街にある計測機器メーカー

昭和43年創業時からメーターリレー(※)などの制御機器や、計測装置のメーカーとして事業を続けてきました。

創業から現在まで一貫して「メーカー」という業態で続けている(つまり下請仕事をしたことがない)という、町工場としては非常に珍しい会社です。

※ 電流や電圧、温度などを計測し、測定値に達したら接続された機器に知らせる装置

触らずに温度が計れる仕組み

まず赤外線放射温度計とは

物に触れずに温度が計れる温度計です

100℃ ピピ!

カシュッ!

赤外線

物体

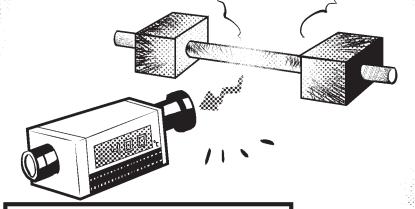
①全ての物体から赤外線が放射されている

②その赤外線の波長をキャッチ！

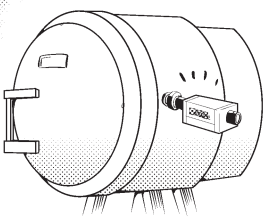
③数値を出す！

中からはこの様に表示されます→

主に、高温のため接触型の温度計が使えない場合、例えば、金属を熱処理する際に使われる真空炉の中や、溶接の温度の測定などに使用されます。



溶接時の温度



真空炉の中身

当時でも赤外線放射温度計は存在しましたが、低温度域（0～500度）にしか対応しておらず、計測範囲も今よりもかなり広く取らなければならないものでした。

500℃

だったら今、世の中にない高温でより狭い範囲も計れる温度計をつくろう!!

先代社長のお父さま

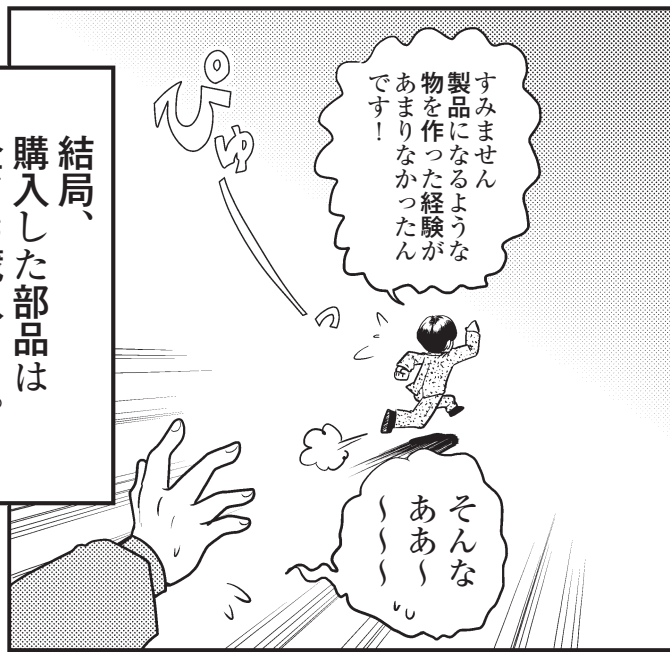
若かりし頃の井野口氏

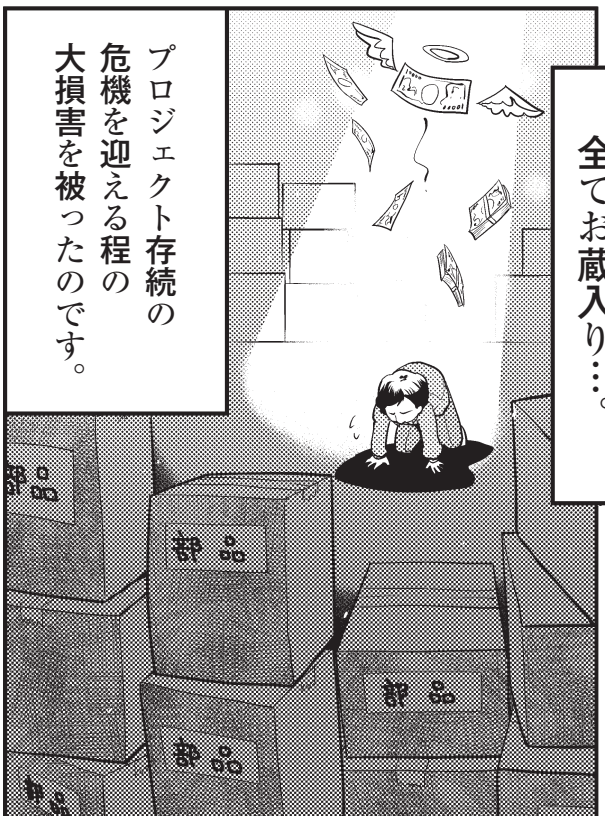
こうして新しい温度計の研究開発に着手しました。

しかし、いざ始めてみると
センサー？？
さっぱりわからん!!
Z-80？？
光学技術？？
デジタル技術やセンサー、光学技術などに関する知識が皆無だったため、最初は相当苦労しました。

そこで電子工学の専門家を募集し、
実際の設計を任せたのですが…
急募 電子光学専門家
私の設計通りに部品を購入してください！
はい！
どっさり！
部品
設計図

大失敗!!
えっ!?
設計通りつくったのになぜ――!?
ビーッ
エラー


すみません製品になるような物を作った経験があまりなかったんです！
ぴゅ
そんなあ～～～


結局、購入した部品は全てお蔵入り…。
プロジェクト存続の危機を迎える程の大損害を被ったのです。
部品

結局、信頼できる電子医療機器の専門家を友人に紹介してもらい、

なんとか製品化を実現させました。

そんな苦労の末昭和58年

ついに完成だ…！

KTLという赤外線放射温度計を発売しました。

シリコンセンサー搭載で高温(3000℃)まで対応！！

研究機関やチップ作製に大活躍ですね！

おお！

ちみっ！

光ファイバーの採用で微小面(小さな範囲)の測定が可能に！！

一眼レフ構造を採用し、計測場所の位置決めがより厳密化できるように！！

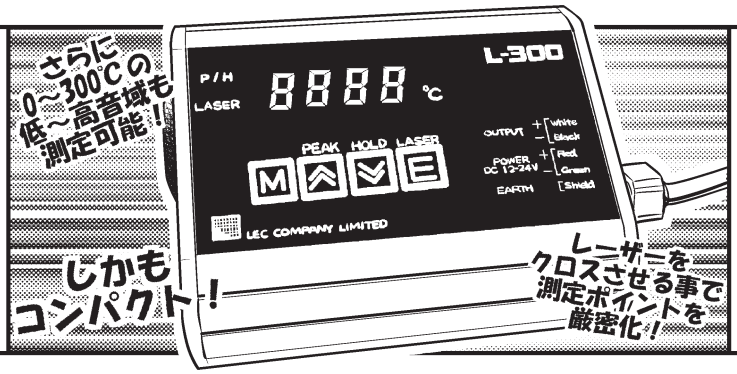
従来製品では不可能だった高温度域の測定、そして微小面の測定が可能となった、当時としては画期的な温度計でした。

今回はなんとか完成したが…

自分でももっと勉強が必要だ…!!

失敗を経験した事により、更なる製品向上への知識や技術の勉強に没頭していきました。

つい最近(平成26年)にはL-300を発売



現状に満足せず、どんどん向上させていきます。

そんなある日、とある工場にて、

お宅の温度計すごくいいね!

低価格だしアフターケアもしっかりしてるし!

今まで大手メーカー製品を使っていたけど、今度からお宅のを使わせてもらうよ!

あ…ありがとうございます…!

努力が報われた瞬間でした

今、この世の中に無いものを作りたい

新しいことに挑戦したい

この果てない向上心こそ井野口社長、そしてレックの強みなのです。

国内における赤外線放射温度計のパイオニア企業のひとつ、レック株式会社

今も尚、新しい分野への挑戦を続けています。